

厚生常任委員会

◆委員

委員長 関藤 龍也

副委員長 堀 重雄

委員 清水 雅人 木下八重子

田村 勇 窪之内美知代

◆滝川市社会福祉事業団との懇談会の実施

たきかわ市議会だより第4号(平成25年2月1日)で、昭和51年度からの滝川市社会福祉事業団の経営状況等をお知らせしましたが、今年度、同事業団は新理事を迎え、新たな経営方針が示されたところです。同事業団は、福祉、障害者就労支援、保育所など本市にとって重要な役割を果たしていることから、本委員会として、5月16日に委員と他7名の議員で新体制となった事業団のあいがも育成鶏舎、処理施設の視察と理事等との懇談会を実施しました。今後は、市民の財



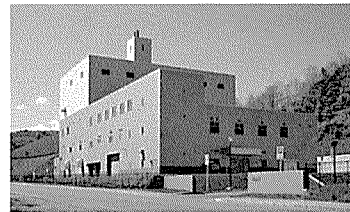
▲社会福祉事業団との懇談会

産である施設の充実と譲渡の可否を含め議論されることとなりますが、本委員会としてその役割と責任をもって市民の皆様にご報告してまいります。

◆ごみ処理手数料の改定について

ごみ処理手

数料の改定に伴う滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例が第2回定例会で提案され、本委員会に付託され審査を進めています。



▲中・北空知エネクリーン

提案の理由・背景として、①平成15年度から導入された従量制によるごみ処理手数料の徴収と分別収集区分の細分化は、ごみの排出抑制と資源化の推進に一定の効果をあげてきましたが、近年ではごみ排出量は微増であり、処理単価の増大等により、ごみ処理経費は増加傾向にあること、②滝川市廃棄物減量等推進審議会から、ごみ処理コストに対する市民負担割合について適正な水準へと近づける

べきとの答申が出されたこと、③本年4月から一般廃棄物焼却処理施設「中・北空知エネクリーン」が、稼動を開始したことで、ごみ処理経費の見通しが確立したこと、をあげています。

今後は、市が実施した説明会で市民の皆様のご意見等も参考とし、先進事例の調査等も実施しながら慎重な審査を行っていきます。

◆食育ファーム事業について

食育ファーム事業は、地域に根ざし、暮らしに学ぶを基本とし、農業の体験と農業者との交流を通して子どもの「豊かな心」「社会性」「主体性」などを育み、食を大切にする心を育て、適切な食生活の実現を目指すことを目的としています。この事業により、朝食の欠食率が改善され、食べ物を大切にする心が育つといった保護者からの感想をいただいています。

今年度も、

滝川市食育推進市民会議・滝川おもしろ食育塾の協賛のもと、8月



▲食育ファーム事業

1日に食育ファーム親子事前学習会が開催され、地産地消・食の大切さを学習し、8月7日から9日まで食育ファームが実施されます。農家や滝川ふれ愛の里に宿泊しながら、農作業や調理などを体験してもらうことが企画されています。朝食を食べる子どもと食べない子どもでは、集中力に差があることは医学的にも証明されていることから、本委員会は、この事業を後押ししています。

インターネット中継開始

6月の第2回定例会から本会議のインターネット中継を開始しました。

本会議開会中のライブ中継はもちろん、本会議終了後は録画映像をご覧いただくこともできます。

「ご自宅のパソコンやスマートフォンで、いつでも本会議の様子をご覧いただけます。」

市公式ホームページから「滝川市議会」のページ、「市議会インターネット中継」のページへとお進みください。